

市独自の緊急雇用対策として 約二百人の臨時職員を任用します

市職員の時間外手当などを約三億円削減し財源とします

市では、今年、道内の高校・短大などを卒業される方を対象に、緊急雇用対策の一つとして臨時職員約二百人の任用を予定しています。これは、長引く景気の低迷により、新卒者の就職内定率も低下していることから、ワークシェアリング（仕事の分かち合い）として実施するものです。

新規任用にかかる経費は、三億円程度の見込みです。その財源については、市職員の時間外手当などを削減することで確保。総人件費が増えないように努めます。任用対象者の多くは、就労経験の少ない若年者層になります。本市で臨時的に働き、社会人としての基礎的な素養を身に付けることで、民間企業への就職活動にも役立ててもらいます。

＜募集要領＞

採用予定人数 200人程度。
任用期間 4月15日(月)から原則6カ月間(来年3月31日(月)を限度に更新あり)。

職務内容・勤務場所 事務補助。市役所、区役所など。

勤務条件 賃金/日額6千870円(通勤手当あり)。

勤務時間/原則午前8時45分～午後5時15分。

受験資格 昭和55年4月2日

～昭和59年4月1日生まれで、次の要件をすべて満たす方。道内の高校・短大などを卒業した方か卒業見込みの方。今年3月15日現在、無職かつ就職未定の方。自宅などから通勤可能な方。

試験日程 3月25日(月)～29日(金) (面接)。

願書(受験案内) 市役所13階勤労市民課、各区役所、札幌公共職業安定所、札幌北公共職業安定所で3月1日(金)から配布。

受験方法 願書を3月15日(金)(必着)までに勤労市民課へ郵送か持参してください。

詳細 勤労市民課(211)2278、勤務条件・職務内容などは、人事課(211)2072

hot news

「札幌の水環境は良い」が71.3%

平成13年度市政世論調査

市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させるため、毎年行っている市政世論調査。今年度の主な調査結果(速報値)について紹介します。

水環境(今回のテーマ) 札幌市の水環境全般を「良い」と回答した方は、七一・三%。その理由として「水量が豊か(五三・二%)」、「飲用水が安

心(四五・九%)」、「緑が豊か(四四・五%)」、「水質が良い(三六・二%)」、「洪水の不安が少ない(三四・八%)」が高い割合を占めました。一方、身近にある川や池、公園の噴水などの水辺環境については、二〇・四%が「不満」と回答し、「ごみが散乱している(五三・四%)」、「水が

汚れている(五〇・四%)」が、その理由に挙げられました。

郷土意識(毎年実施) 札幌の街が好き」は、九五・九%。二十二年連続で九割以上を占めました。

市政への要望事項(毎年実施) 上位から「除雪」、「高齢者福祉」、「公共交通の利便性を進める」、「ごみ・資源回収」の順となっています。

詳細 市民の声を聞く課(211)2042

hot news

PMF2002を7月に開催

組織委員会も財団法人化します

故レナード・バーンスタインの提唱で始まったPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)。今年七月六日(土)～二十七日(土)の日程で開催されます。

PMFは、若手音楽家の育成を通して、音楽の普及・発展を目指す国際教育音楽祭です。その中心となる教育プログラム「アカデミー」には、

世界からオーデションで選ばれた約百十人が参加します。また、今回から、アジア地域の若手作曲家を育成する「コ

ンポジションコース」も新たに設置。教育プログラムは一層充実します。一方、コンサートでの大きな注目は、マルチ・アルゲリッチ(ピアノ)とジョシユア・ベル(バイオリン)という世界的な演奏家二人が参加することです。今年のは本誌六月号で紹介しています。

今年で十三回目を迎え、す

っかり札幌の夏の風物詩となったPMF。成熟期を迎え、新たなステップを踏み出すため、組織改革も行います。

現在、PMF組織委員会は、任意団体として運営されていますが、今春、文部科学省が許可する財団法人化を図ります。これにより、社会的・対外的な信用を高めるとともに安定した財源確保を進め、文化発信の担い手として質の高い事業を継続していきます。

詳細 PMF組織委員会(520)2222



今年も名匠シャルル・デュトワが芸術監督としてタクトを振ります